



## 2年間の市政運営と今後の展望について

浅沼 幸雄 議員  
(新興会)

**問**

一昨年新市の市長として無投票で再選され、先頃折り返し点を迎えられたが、選挙公約の市政への反映状況をどうとらえているのか。また任期残りの今後2年間の展望はどうか。

**答**

2年前の10月、自分なりに様々な検討をして『進化し続けるまちづくり』ということで「誠実・対話・行動力」をキーワードに新たな地域再生に更なる挑戦を続けます」という決意を表わした市民や議会との約束であるマニフェストを発表した。今それを思い浮かべながら改めて責任の重さを痛感している。

公約の市政への反映状況については、斉場が人間の尊厳にふさわしい場として供用開始になり、消防庁舎は、24時間体制で3万市民の生命と財産を守る拠点として着々と整備が進んでおり、来年の7月には供用開始となる予定であり、学校給食センターも国土交通省の

**問**

交付金を総事業費の4割近くも頂いて総合食育センターとして間もなく着工できる運びとなった。懸案事項であった中学校8校を3校に再編する問題も、それぞれの地域の皆様の正に涙をのんだ決断によりご理解を頂いて教育環境の整備に向けても踏み出すことができ、馬の里の競走馬育成調教施設も完全民営化となり一定の展望も見えて来た等々、公約として掲げた80の施策のうち現時点で着手した事業は72項目、着手率は90%となっており概ね着手できたと思っ

**問**

東日本大震災の被災地への後方支援の必要性も重要性も理解はしているが、市民のなかには市長は遠野市をそして市民を忘れてはいないだろうかという不安もあると感ずるが、どう考えるか。

**答**

質問の事に関しては私も気になっていた。現実には市役所のほとんどの部署では、8月・9月頃から通常の業務にもどっており発災

**答**

前の状態になったと認識しているが、これからも市民の為の市政を第一に考えて市政運営にあたっ



公約実現の一環として整備中の防災センター